



## 原作 樋口一葉(ひぐち いちよう) 1872年~1896年

甲州市塩山出身の両親を持ち東京に生まれる。14歳で歌塾「萩の舎」に弟子入り。父の他界後、小説家として一家を支えるべく半井桃水に師事。19歳で処女作「闇櫻」脱稿。数々の小説を発表するが、生活の糧となるには届かず、下谷龍泉寺町に転居し商売を始める。10カ月足らずで店を閉じ本郷に戻るも、ここでの暮らしを題材に小説「たけくらべ」を発表、森鷗外、幸田露伴らに絶賛される。しかしながらその年の11月23日、肺結核により24年の生涯を閉じる。2004年11月、五千円紙幣の肖像となる。日本で初めての女性職業小説家。



## 美登利 奥山眞佐子(おくやま まさこ)

甲府市出身。文教大学文芸科卒。マキノ雅弘・山田五十鈴・金子信雄・丹阿弥谷津子に師事。一葉の原文に少々の注釈や工夫を加えることで、黙読では得られない一葉小説の世界を表現する活動を重ねて20年。2016年三越劇場一葉没後120年記念で行われた「ひとり芝居連続公演」で多大な好評を得る。NHK大河ドラマ「武田信玄」、朝の連続テレビ小説「あぐり」、黒澤明監督「まあだだよ」などに出演。舞台「生きてゆく私」御園座社長賞(演技賞)一葉作品連続公演に対して「細うで繁盛記賞」受賞。NHK「夢見る葡萄」、「花子とアン」、「とと姉ちゃん」の山梨ことば指導を担当。ホームページ <http://www.okuyama104.com/>



## 音楽構成・お囃子演奏 高橋香衣(たかはし かえ)

幼少よりピアノ、ヴァイオリンの手ほどきを受ける。日本大学 芸術学部 音楽学科 作曲コース 卒業。2004年 NHK邦楽技能者育成会50期に入学。第1回「世田谷区芸術アワード“飛翔”」音楽部門受賞。歌舞伎囃子を堅田喜三久師(人間国宝)、堅田新十郎師、堅田喜久祐師に指導を受ける。長唄三味線を杵屋五三吉師、杵屋五吉郎師に指導を受ける。2015年三越劇場「大つごもりと一葉日記」公演より奥山眞佐子と共演を重ねている。

